

中播磨地域未来フォーラム 主な意見

- ・中播磨地域は非常に多様性がある。離島もあり、市川を北上すると農村地帯もあり、最後はスキー場まである。この非常に素晴らしい魅力を生かしていきたい。
- ・若い人が住みたい・働きたい・子育てしたいと思う魅力的な地域でないと、人は集まってこない。
- ・地域資源の素晴らしさも中播磨の魅力の一つである。銀の馬車道も粘り強く PR してきた結果、認知度が上がってきた。継続することは大事である。
- ・移住支援ではミスマッチが課題である。移住者が求める田舎暮らしと実際の地域での暮らしにギャップがあると感じている。中にはイメージと違ったと言って1カ月くらいで出て行く人もいる。このギャップを楽しめる人が地域にとっては良いのかもしれない。
- ・2025年に健康と食をテーマに里山がフィールドパビリオンとなって、大阪・神戸・姫路、そして里山がリモートでつながり、海外や街中の人たちに播磨のブランドを広めたいと強く願っている。
- ・これからは英語だけでなく多言語の習得も推進し、影響力・発言力を高めていくことも大事。日本をはじめグローバルな舞台において様々なレベルで主張できることは、中播磨の魅力を幅広い人に知ってもらえることにつながる。
- ・町政・市政・県政に関心のない人が多い。地域外へのアピールも大事だが、地域内に中播磨はこんな地域でこんなことをしているということを知りやすく PR することも重要
- ・ママ世代が最初に行政に関わる出産・子育てのタイミングでまちのことを好きになると外への PR につながる。若い人が楽しそうにしているまちは、周りから良く見えて、それが外への PR につながる。
- ・神河町のような山間部の郡部でも、都市部と同じような収入が得られる仕事がある地域になればいいと思う。
- ・学生は昔に比べて感度が良くなっている。アンテナをしっかりと張っており、あまり知られていないB to Bの企業に就職する学生もいる。若者の感度に引っ掛かるところがあると、選んでもらえる。
- ・姫路ではチャレンジしようとする若い人になかなか出会えない。やはり地方ではここで子育てすると決めた女性がキーになると思う。
- ・中播磨は、中高生がワクワクできるまちを目指すべき。中高生が将来を見通せるまち、将来ここでずっと働きたいと思えるまち、そういう情報が行き来しているまちこそ価値があるのではないか。
- ・近所の小学校で読み聞かせをする際に、小学生の様子を見ていると、みんなとてもよく言うことを聞くのだが、それが逆にロボット的で、小さい社会人がたくさんいるように感じた。
- ・中播磨の多様な魅力を生かして、大変なときほど助け合える地域になってほしいと思っている。人と人との距離が離れつつある中、人とのつながりを重要視する必要がある。
- ・中播磨には、祭りに代表される人のつながりの濃さや歴史がある。これはゆるぎない資産であり、これからも生かしていくべき。
- ・福祉は高齢者に目が向くが、子どもを安心して育てられ、お母さんが元気で、女性が輝いている地域が、健やかで健康な地域だと思う。
- ・日本の古い考えを捨てるのではなく、現代の考えとハイブリッドにすることで、中播磨、そして日本をさらに強くするのではないか。